

今月の特集

# コストを抑えて快適に！ 節約のできる家づくり

節約や貯蓄に関心が高まる現代、新居のコストもスマートに考えたいもの。余計な出費をできるだけ抑えて上手な暮らしを送るためには、どのようなポイントがあるのでしょうか。

## 省エネから家事の短縮まで、節約はいくつかの角度から考えよう

子どもの養育費から老後の備えまで、将来への貯蓄や節約に関心が集まる現代。家づくりにおいても、光熱費や修繕費をはじめとする費用の削減は非常に重要な視点です。

住まいの節約を目指すにはどんな方法が挙げられるでしょうか。ひとつには優れた住宅設備の導入があります。良く耳にする「エコキュート」はメーカー各社が製造販売するヒートポンプ給湯器の愛称で、空気熱をエネルギーに変え、消費電力を電気温水器の約1/3程度まで削減することが可能。他には、ソーラー

パネルによる太陽光発電を思い浮かべる方もいらっしゃるかもしれません。

住宅設備の投資まではなかなか手が届かない…という方は、家電による省力化で時間を節約するという発想はいかが。新居の間取りに合わせて食洗機や洗濯乾燥機を導入し、作り出した時間をパートタイムや副業に当てるのもよし。十分な休養に当てるのも生産性向上につながります。または、新居の家事動線が短いことも、長い期間で換算すると大きな効率の差を生むポイントでしょう。

それでは、当初の建築費用は節約しても良いのでしょうか。これはランニングコストを意識することが成功のカギになります。

## ランニングコストを削減、長く住むほど節約できる家を

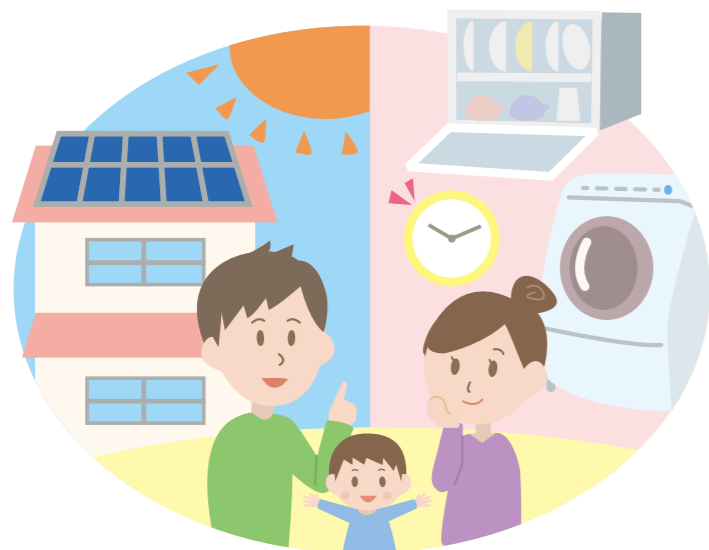
家のローコスト化を図るときは優先順位を明確に、施工品質と住宅性能は譲らないことが肝心。建築費用(インシヤルコスト)をかけてでも、その後のランニングコストを減らす方がお得になるからです。

具体的にはどのようなことでしょうか。まず挙げられるのが修繕費の発生です。築年数を経ると、施工品質が不足している場合は内部結露が柱や梁を傷めることも。家を支える構造部分に傷みが及ぶと、費用が大きくなることにもなりかねません。

もうひとつ忘れてはならないのが健康維持の視点。屋内の寒暖差は特に高齢者のリスクが高く医療費にも直結する問題です。「FPの家」は冷暖房効率が極めて高く、毎月の光熱費を大幅に削減できることが特長。家全体が暖かく身体に優しいのもポイントです。

また、経年劣化が極めて少ないことから大規模な修繕も心配無用。長期間に渡って快適な住環境を維持できるから、様々な視点でコストダウンにつなげることができます。

最後に、家づくりは節約と同時に資産価値を保つ視点も大切です。仮に売却や賃貸を行う場合も選択肢が広がり、ライフプランに大きな余裕を生むことにつながるからです。



# 住まいの知恵袋

## 子どもの収納スペース



小学校入学に合わせて子供部屋や学習机を用意するというご家庭も多いのでは。お子さんの整理整頓の習慣づけには、ちょっとしたレイアウトや収納の工夫が役立ちます。

まずは部屋のゾーニングを明確に。ベッドと机ならそれぞれ衣類と勉強道具など、その付近に必要な収納スペースを確保しましょう。

使用頻度の多いモノは子どもの目の高さにまとめ、低学年なら文房具やおもちゃなど種類別に箱を用意。同じ仲間のモノをまとめる習慣から始めれば無理がありません。

部屋をきょうだいで使ったりリビングの一角に子どもスペースを作るなら、棚で仕切ったりカーペットを敷くと守備範囲が自覚しやすくなり、散らかる心配も少なくなりますよ。

## 手作りプランター

ポカポカと暖くなる季節、今年のガーデニングは自作のプランターで楽しんではいかが。木製なら市販の板から切り出して箱状に組み上げ、底には水抜き用の穴を忘れずに。素材は杉など耐水性・耐候性に優れた種類を選び、防腐剤や塗装を加えればなおよし。ネジはステンレス製を選べば、風雨に晒されても錆びる心配がありません。

木だけでなく、空き缶やバケツ、廃材などの様々な素材もプランターに早変わりします。スチール製ならあえて塗装せず、錆びや傷みをそのまま味にするのも面白いですね。ただし木製に比べるとプランターの温度変化が大きくなるため、育てるなら丈夫な種類の植物を選ぶのが安心です。



## お金の豆知識

### 不動産取得税

文字通り不動産取得時にかかる都道府県税。住宅の新築や購入の場合、現在の税率で土地と住宅の固定資産税評価額のそれぞれ3%を納めます。一定条件で1200万円(長期優良住宅は1300万円)が控除され、宅地取得時の課税標準額が半額となるなどの軽減措置もあるため事前にぜひチェックしましょう。



## 暮らしの7ツポイント



### 屋内の花粉症対策

春の厄介者、花粉は屋内に入れないことが大切。帰宅したらコートを払い、玄関近くにクローゼットがあると理想的です。花粉の残る窓際は重点的にお手入れをし、窓を開けるなら飛散の少ない早朝や夜間を選んで。「FPの家」は24時間計画換気だから、室内の空気は一日中キレイに保つことができます。

## 教えて! Dr. 住まいる

### カーテンを自宅で洗う

冬の間が目立たない汚れが一杯ついているカーテンは、生地によっては洗濯機で洗うこともできます。必ず洗濯表示を確認し、ホコリを払ったらヒダで折り洗濯ネットへ。たっぷりの水に弱水流なら傷む心配も減ります。カーテンレールに干す前に窓の拭き掃除を済ませば、汚れも移らずスマートですよ。

